

都連 国・東京都に制限緩和を要望 文化芸術活動への制限に関する意見書

現在、東京・京都・大阪・兵庫に緊急事態宣言(4/25～5/11)が発出されています。また、まん延防止等重点措置も同じく5/11を期限に、宮城・沖縄・埼玉・千葉・神奈川・愛知・愛媛に出されているため、公共施設等が使えず苦慮している音楽団体が数多くあります。

東京都合唱連盟では4月26日、内閣官房・文化庁・東京都に対し、文化芸術活動への制限緩和を要望し『**3度目の緊急事態宣言における文化芸術活動への制限に関する意見書**』を提出しました。その主旨は以下の通りです。

都連では昨年来、**ガイドライン策定や合唱活動における飛沫実証実験**を実施し、安全な合唱活動を模索し続けている。実際いくつかの事業を開催した結果、3千人弱が安全に参加できた。これらの安全対策にもかかわらず、緊急事態宣言および東京都の緊急事態措置では、映画館等に休業要請・協力依頼が出され、ホール・劇場・演芸場には**無観客開催**の要請が出されたが、これはこれまで積み上げてきた努力を無視するものであり、大変遺憾である。

本来、舞台芸術等のエンターテインメントの鑑賞や、生涯学習としての実践は、社会生活に欠かせないものであり、そのことは国が特に重要な基幹統計調査と位置づけて実施している「社会生活基本調査」の中で、趣味・娯楽を挙げ、その中に舞台、音楽、映画の鑑賞や楽器の演奏、声楽・コーラスなどが列挙されていることから疑いようのない事実である。

イベントの無観客開催は“社会生活を維持するために必要なものは除く”という一文はあるものの、現実には緊急事態宣言により多くのホール・公共施設が一律で閉館を決め、観客を入れた開催はもちろん、無観客や通常の練習活動すら認められていない。文化芸術活動はその愛好者にとって社会生活の維持に欠かせないことは明白で、合唱はじめ歌唱の心身に与える健康効果はこれまでも繰り返し言われてきている。

多くのアマチュアの活動により、職業音楽家が育成され、その生活が成り立っている。文化の維持には継続が欠かせない。これまでの公的助成金・支援金のほぼ全てが法人格のある団体を対象としたものか、プロの公演が対象で、それらのプロとつながるアマチュアの活動は置き去りにされている。

今回の緊急事態宣言が大型連休に合わせて設定されたことにより、多くの公演が中止に追い込まれた。アマチュアの公演には公的補償がなく、その活動を支えるプロが収入を得る機会を失った。よって都連は、国及び東京都に対し、文化芸術活動継続のた

め、下記事項の実施を強く求める。

記

1. 十分な対策を徹底することを条件とした、観客を収容してのイベント実施許可
2. 十分な対策を徹底することを条件とした、公立施設の練習等利用許可
3. その為に必要なホール、公共施設等への開館指示
4. アマチュアの活動を前提とした支援の充実

◆また、意見書ではスポーツ庁の「令和2年度体力・運動能力調査結果」に触れ、ほぼ全ての世代で体力・運動能力の低下が見られるが、それは27.7%が自粛生活により速く歩けなくなったと回答していることから裏付けられとしています。

◆調査は、令和2年6～11月実施、例えば、青少年の場合は握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・50m走・ボール投げなどを測定。すべての年齢層・男女に共通する傾向は認めにくい、体力テストの合計点では小学生を除いて前年度よりわずかに低い結果で、コロナ禍の影響は今後の調査に委ねるとしています。

◆アマチュアの活動が制限されれば、それは直接フリーランスの音楽家の生活へとつながっています。この『おんがく広場』を昨年4月に発行したときの問題意識はまさにそこにありましたが、未だに解決されていない現実を見ると、フリーランスの方々の置かれた現実の厳しさに心が痛みます。

今年初の赤ちゃんザルはアマビエに決定 大分・高崎山



大分の高崎山自然動物園で5月2日、今年初の赤ちゃんザルが生まれたと合唱仲間から新聞の切り抜きが届きました。これはテレビニュースでも報じていました。名前はなんと「アマビエ」、ご存知疫病を封じる妖怪です。へその緒が付いたままの赤ちゃんザルが母親にしがみついているのが発見されました。性別はまだ確認されていませんが、名前は公募で選ばれました。赤ちゃんザルは元気で、へその緒は乾燥すると自然に取れるといいます。

昨年はコロナ禍に負けず頑張ろうとの願いから「エール」と名付けられましたが、今年は妖怪の名前になりちょっと可哀そうです。しかし、新型コロナウイルス終息の願いを込めたと思えば、それもありかなというところでしょうか。ご利益を期待したいところです。

アマビエ効果でコロナ禍が収束して、来年こそコロナ以外の名前が付けられたいですね、と担当者は願っています。